

若松活性化アクション！若者定着×地域のにぎわい創出

～若松区と企業が連携したまちづくり～

若松区・若松あつまる会
包括連携協定締結式

令和7年5月28日



若松区役所



1 若松あつまる会の功績

■若松あつまる会（令和4年8月設立）
 若松の発展を願い、様々な地域振興事業を実施する、
 企業・個人・団体の集まり

地元高校生を対象に
 「企業見学ツアー」を開催



若松あつまる会の概要



団 体 名	若松あつまる会
会 長	中野 浩一(中野電話工業(株) 代表取締役社長)
事 務 局	北九州市若松区安瀬57-2(株)キフネ
設 立	令和4年8月
会 員 数	名誉会員18団体、会員131社（令和7年5月15日現在）
事 業 内 容	若松支援活動(地域振興事業、イベント)、親睦活動

若松の応援団として活躍

2 区の機能強化

Kitakyushu
Action!

区役所は市政を支える
「まちの最前線」

令和7年度から

区役所に戦略担当ラインを配置

地域の声を市政に生かす

③ 若松の高いポテンシャル

若松Challenge 

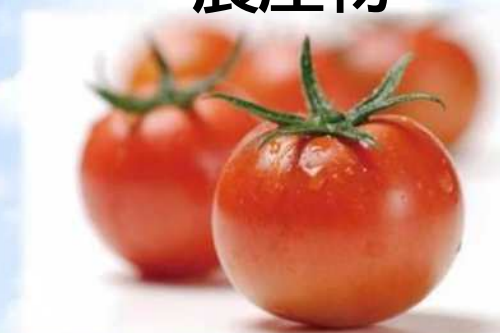
企業進出



自然



農産物



魚介類



熱い区民性



4 地域や企業からの声（若松区）



若松区民の声

- ▶ 高齢化が進み、地域の**若者**が少ない
- ▶ 地域・**伝統行事の担い手**が不足

企業からの声

- ▶ **従業員**が**不足**しており募集をかけても集まらない
- ▶ **外国人労働者の住居**確保が**困難**

5 若松区と企業の想いが一致



■若松あつまる会（令和4年8月結成）

熱い想い



- ・ 若松の発展を願い、地域振興を実施（支援・協賛）
- ・ 会員企業は、20社 ⇒ 149社（令和7年5月時点）
- ・ 近年、趣旨に賛同する企業が増加↑

■若松区のまちづくり

まちに活力を

- ・ 誰もが住みたい、住み続けたいと実感できるまち
- ・ 地域やまちの声を丁寧に拾う
- ・ 地域のポテンシャルを最大限活かす



6 若松区民の未来への期待・希望



若松区と若松あつまる会（企業）が連携したまちづくり

- ① 若者の人材育成
- ② 地域のにぎわいづくり
- ③ 地域課題への対応

7 若松の未来を担う人材を育成

若松区内の**学生**を対象に、様々な**職業体験**を提供

あつまる会と連携



小学生

～

高校生

将来

お仕事体験

興味・関心
を植え付け

インターン
(企業の課題解決)

就業、進学時に
定住・定着を意識

**地元への
愛着、誇り**

8 急速に進むグローバル化（若松区）



- ▶ 外国人居住人口は、近年増加傾向
- ▶ 高い外国人居住率 2.5% > 市1.9%
(若松区)

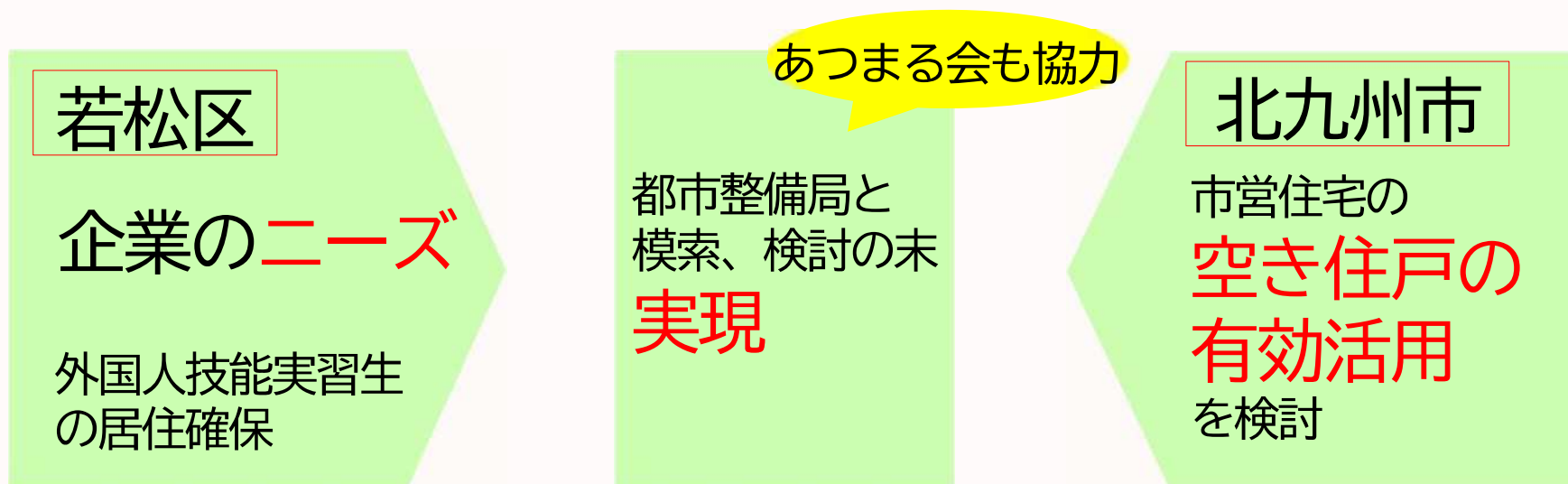


企業は慢性的な
人材不足

外国人
技能実習生
を雇用

居住環境
が不安定

9 地域ストックを活用した新システムを実現 若松Challenge



- ▶ 若松区からの相談を契機に、外国人技能実習生の居住確保を**実現**

10 外国人との共生モデルづくり

若松モデル！

福岡県で初！ (外国人技能実習生)

市営住宅の上層階を有効活用

かみのこう

上ノ鴻 団地

りゅうせい

竜清 団地

※予定戸数：各1～2戸

地域との共生

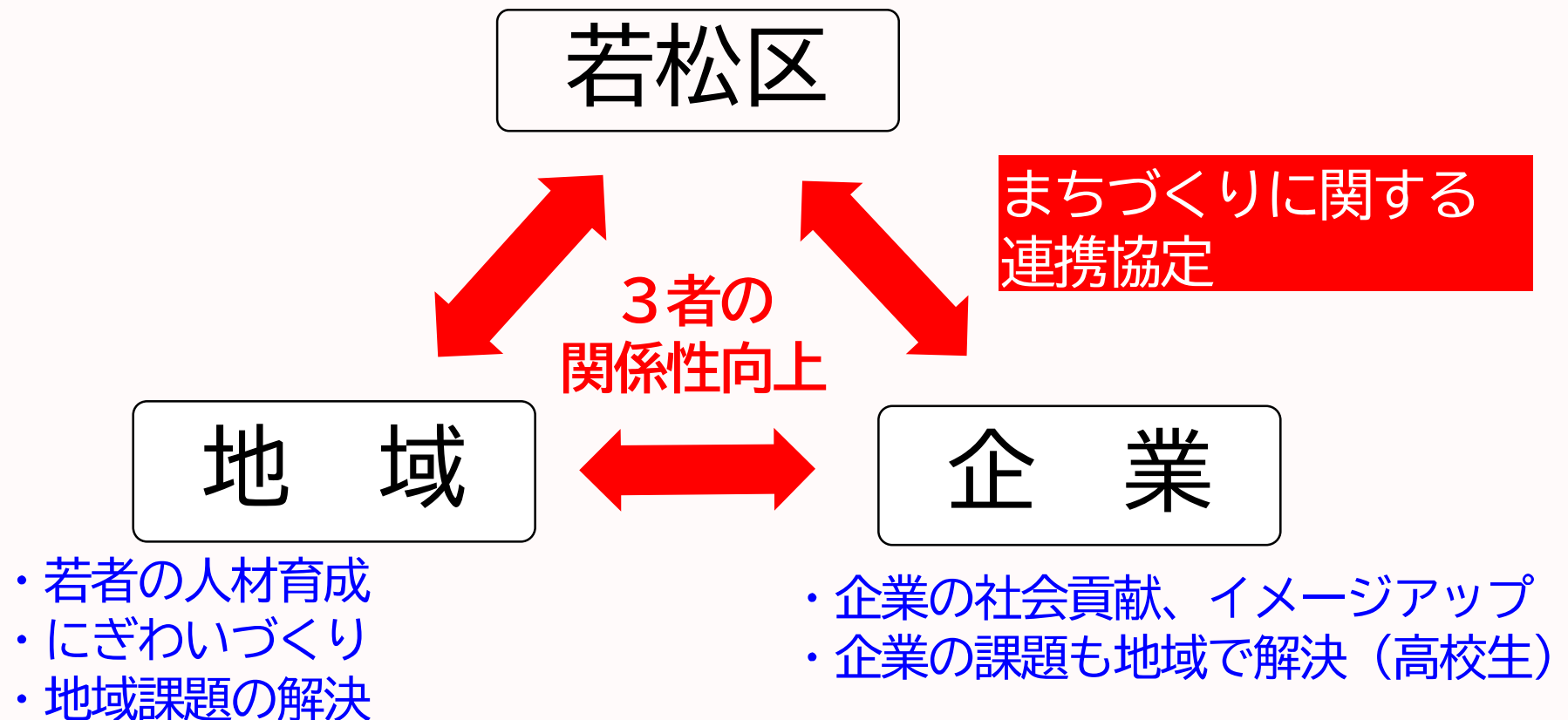
清掃、まつり

- ・自治会加入、地域活動への参加



11 連携協定による効果

連携協定により3者の関係性向上、相乗効果が期待できる



12 若松区が目指すべき方向性

若松プロジェクト

若松活性化、若者定着、
地域のにぎわい創出

包括連携協定締結

1 段階

2 段階

3 段階

若松区民のニーズが
届きやすくなる

- ・ 区民、企業の意識変化
- ・ 新規企業の関心増大
- ・ 若松ブランドが強化

- ・ 若松経済の活性化
区民：まちづくりへの参加意識 **↑up**
企業：協力意識 **↑up**

若松の高いポテンシャルを活かす機会が増加

13 包括連携協定

区の戦略第1弾！

